

院長ご挨拶

2025年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます

昨年は、正月早々能登半島地震が発生し、大変な被害をもたらしました。今もお避難生活を送られている方が多くいらっしゃるのと、被災者の皆様には心よりお見舞い申し上げます。今年こそは、穏やかな一年になることを願っています。

さて、さがみりハビリテーション病院は、2025年12月1日に相模原協同病院の隣接地に移転、新築オープンいたします。新病院は140床、地上4階建て。広々とした緑に囲まれた環境で、リハビリテーションに最適な環境を提供いたします。移転後も現在の診療体制に変更はありませんが、敷地面積の拡大に伴い、患者様のアメニティ向上、そしてこれまで以上に質の高いリハビリテーションの提供が可能となります。当院は1981年6月、この下九沢の地に開設いたしました。40年以上にわたり、地域の皆様にご利用いただけてまいりましたが、建物や設備の老朽化により、現状の施設では十分な医療機能や療養環境を満たせないと判断し、この度、新築移転することとなりました。移転先は多少遠方となりますが、これまでと変わらぬご利用をいただけますようお願い申し上げます。

2025年は、約800万人の団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となり、後期高齢者が人口の約5分の1を占める超高齢化社会に突入する年です。医療

の面では、脳卒中や大腿骨頸部骨折など、高齢者に多い病気が今後ますます増加することが予想されます。このような医療環境の中、当院が相模原協同病院の隣接地へ移転するのは、当院と相模原協同病院が互いに補完しあう関係にあるからです。例えば、脳卒中の患者様の場合、まずは救急病院である相模原協同病院で急性期の治療を受け、生命の危険が少なくなった段階で当院に転院していただき、リハビリテーション治療によって機能回復を図り、社会復帰を目指します。

日本人の平均寿命は男性82歳、女性88歳で世界有数の長寿国ですが、健康上の問題で日常生活が制限されない期間、いわゆる健康寿命は男性73歳、女性76歳です。厚生労働省は2040年までに、健康寿命を男女とも3年以上延伸することを目標としています。リハビリテーションを通じてこの健康寿命を延ばすことが、当院の使命だと考えています。

当院の回復期リハビリテーション治療に対する皆様の期待に応えるべく、職員一同、新病院でもより一層努力してまいります。今後とも、ご支援ご鞭撻のほど、よろしく願いいたします。

さがみりハビリテーション病院
病院長 吉野 靖

新病院 完成イメージ

令和7年12月1日 オープン予定



個室イメージ



準個室(4床室)イメージ



2階 外来待受イメージ



2階 健診室イメージ



2階 総合待受イメージ



3・4階 ナースステーションイメージ



3・4階 患者食堂イメージ



4階 リハビリテーション室イメージ



写真(パース図)

● 概要

名称	医療法人社団 哺育会 さがみリハビリテーション病院
新所在地	神奈川県相模原市緑区橋本台4丁目1711番21号 (上記は地番表示なので、決まり次第ご報告致します。)
病床数	140床
規模	地上4階(RC造)
開院予定	令和7年12月1日

● 地図



看護師の退院後訪問指導を始めました!

退院後訪問指導とは

退院後、患者様が安心して在宅または施設での療養を継続できるよう医師の指示のもと退院日から1か月以内に看護師が訪問して(5回まで)指導等を行うものです。対象として、医療ケアや認知症の対応が必要としている患者様になります。

退院後訪問の目的

患者様の退院後の生活・身体機能を確認し、在宅生活を継続するための課題・不安点を明確にすること。そして、患者様・ご家族が不安なく生活できるように指導・助言をして在宅生活に繋げていくことです。

実際に訪問しました!

7月より訪問を開始しました。当院では初めての取り組みとなるため訪問時はとても緊張しました。

ある患者様は入院中、歩行は難しい、車椅子での生活になるという見立てからご家族様に介助指導をしました。ご家族に介護の負担はないか、その人らしい生活が出来ているか、介護保険サービスは利用できているか気になるところがありました。

実際に訪問して…玄関の外に笑顔で迎えてくれました。一人で歩くこともでき、お茶を淹れたり、笑顔でご家族と談笑していました。とてもキラキラしているように感じました。

医療者側からこれは出来ない、無理ではないかと決めてしまう事は患者様の生活を制限してしまうことだと思いました。可能性を考えて指導する事が必要だと思いました。

ある患者様は退院後、自宅で過ごすことが多くなってしまいサービス利用が上手く出来ていない状態でした。また違う患者様では薬の飲み方について気になっていることがありました。患者様それぞれの生活の仕方があり、家族の

在り方があり、個別に対応した生活を一緒に考えることが必要だと感じました。当院を退院したという一区切りであって、患者様・ご家族の生活は続いていきます。安心・安全な生活が出来るよう、当院で出来る限りの対応をしていきたいと思います。また、実際に退院後の生活を確認することで看護師の成長や入院中の患者様の指導に活かすことが出来るので継続していきたいと思います。そして担当ケアマネジャーや地域包括支援センターへ繋ぎ、地域との連携を一層深めていきたいです。

退院後訪問指導について何かあれば声を掛けて下さい。

退院支援看護師
堀辺 恵理香



交通案内

アクセスマップ



■電車でお越しの場合

JR 相模線「南橋本駅」下車 西口より 徒歩15分

■バスでお越しの場合

○「橋本駅」から来院される場合

神奈川中央交通バス【橋本駅 南口1番乗り場 橋58】

- ・下九沢団地行き→日電寮前下車→徒歩2分
- ・下九沢団地行き→下九沢団地→徒歩2分

○「相模原駅」から来院される場合

神奈川中央交通バス【相模原駅 南口8番乗り場 相36】

- ・下九沢団地行き→日電寮前下車→徒歩2分
- ・下九沢団地行き→下九沢団地→徒歩2分

病院理念

愛し愛される病院

基本方針

地域の幸福な生活を応援すべく、
「自立と予防」を二本柱に掲げ、
医療・福祉の充実を目指す

病院概要

許可病床数

回復期リハビリテーション病棟 130床

診療科目

内科、神経内科、整形外科、脳神経外科、
リハビリテーション科

診療受付時間

平日 8:30～12:00

※診療科によって受付時間が異なるため、ホームページをご確認頂くか、お問い合わせください。

付帯施設

- ・訪問リハビリテーション
- ・居宅介護支援事業所 タイム
- ・訪問看護ステーション ルピナス
- ・訪問介護事業所 菜のはな

リハビリ体制

脳血管リハビリテーション | 運動器リハビリテーション |
廃用症候群リハビリテーション

医療法人社団 哺育会

さがみリハビリテーション病院

代表 ☎ 042-773-3211

〒252-0254

神奈川県相模原市中央区下九沢54-2

<https://sagami-rh.or.jp/>

